

採点表(審査基準)
(明石市生活困窮者就労準備支援ほか業務委託)

基本事項(35点)					
審査内容	評価基準				
	優	良	普	劣	不
生活困窮者自立支援制度や生活保護制度を十分に理解しているか。 また、就労準備支援、就労支援、相談支援に対する理念や考え方が十分にあると認められるか。	5	4	3	2	1
業務を円滑かつ効率的に行うための意欲、熱意を感じられるか。	5	4	3	2	1
事業目的と効果についての考え方は適切か。	10	8	6	4	2
成果指標についての考え方は適切か。	15	10	7	3	0
業務実施体制(55点)					
配置する人員確保について具体的な計画があるか。	10	8	6	4	2
サテライト事業所の設置場所について具体的な計画があるか。また利便性及び面積等は支援を行うにあたり適切か。	10	8	6	4	2
サテライト事業所の運営日及び業務時間は適切であるか。 また、人員の配置数、雇用形態及び勤務日・時間は適切であるか。	10	8	6	4	2
配置する人員の人材育成は適切か。	5	4	3	2	1
就労準備支援業務等の受託実績を十分に有すると認められるか。	10	8	6	4	2
情報セキュリティ及び個人情報管理についての考え方や体制は整っているか。	10	8	6	4	2
就労準備支援に関する業務(50点)					
個々の状況に応じた多彩な支援メニューが準備されているか。	10	8	6	4	2
支援方法が具体的で、実現性はあるか。	10	8	6	4	2
関係機関との連携について具体性があるか。	5	4	3	2	1
本部事業所とサテライト事業所との連携についての考え方は適切か。	10	8	6	4	2
支援内容に独自性はあるか。	5	4	3	2	1
個々の職歴や経済状況に応じて柔軟に支援できるか。	10	8	6	4	2

就労支援に関する業務(25点)						
審査内容		評価基準				
		優	良	普	劣	不
求人開拓、職場見学、就労体験及び生活困窮者就労訓練の開拓手法は適切であるか。		15	10	7	3	0
開拓件数、紹介件数、就労者数等の目標はあるか。また考え方は適切であるか。		10	8	6	4	2
地理的条件(15点)						
地域に根差した法人であるか。		15	10	7	3	0
公共性(施策反映)評価(10点)						
審査内容		評価基準				
		優 ← → 劣				
障害者の積極的雇用	・ 障害者の雇用の促進等に関する法律第43条に係る障害者の雇用義務がある業者で雇用する障害者数が法定雇用障害者数以上あるか ・ 障害者の雇用の促進等に関する法律第43条に係る障害者の雇用義務がない業者で障害者の雇用があるか	2	1		0	
子育て支援への取組	結婚・妊娠・出産・育児への支援、子育てしやすい環境づくり など ・ 法定を上回る育児休業制度を就業規則で制定 ・ 職場復帰しやすい環境の整備 ・ 子育て中の従業員向けの相談体制の整備 など	2	1		0	
インクルーシブ推進に関する取組	誰もが働きやすい就労環境の整備、ハラスメントの防止、事業活動における方針の立案及び決定に障害者等が積極的に参画する機会 など ・ フレックスタイム制、在宅勤務や通勤緩和制度など ・ ハラスメントについて相談や苦情のための特別窓口やカウンセラーの配置 ・ それぞれの特性に応じた適正な雇用及び人事考課基準の明確化 ・ インクルーシブに対応した施設整備 など	2	1		0	
若年雇用者育成のための取組	・ エルダー制度など若手従業員を個別実地に熟練者が育成するような制度を事業所として制定（単なる研修は除く） など	2	1		0	
更生支援のための取組	保護観察所への協力雇用主としての登録があるか 登録がある場合の刑事施設出所者、少年院出院者、保護観察対象者又は更生緊急保護対象者を雇用するための具体的な受入制度や採用枠等の整備 など	1		0		
労働安全衛生のための取組	厚生労働省から安全衛生優良企業の認定を受けているか	1		0		
コスト(50点)						
見積金額		50点×参加者の中の最低見積金額÷当該参加者の見積金額 (小数点以下切り捨て)				
合 計		240点				

※審査委員5人の合計点1,200点満点のうち、600点を最低基準点とし、これを超えなければ失格とする。

※審査内容の項目における見積金額とは、明石市生活困窮者就労準備支援業務及び明石市被保護者就労準備支援等業務の参考見積額の合計額とする。